

令和2年度三次市公共事業評価監視委員会【議事要旨】

開催日時 令和3年2月24日（水） 13時00分開会 14時30分閉会
開催場所 オンライン会議（事務局：三次市役所本館607会議室）
対象事業 三次地区都市再生整備計画事業（都市再生整備計画）
出席委員 田中貴宏委員，今川朱美委員，前田奈美委員，河原直己委員，宗清弘樹委員
市出席者 福岡市長（諮問のみ）
建設部 大前都市建築課長，白石建設部付課長，藤川係長，稲住主任
経営企画部 宮脇部長，渡部企画調整課長，倉川係長，山口係長

報告

事務局から議事録署名の廃止について報告した。

議事

田中委員長の進行により議事に入る。

審議

事務局（担当課から事業概要及び資料説明）

委員長 各委員からご意見ご質問があればお願いします。

委員 本事業で小路の整備をされていますが，小路は街を特徴づけるうえで大変重要であり，こうした環境整備がなされることは良いことだと思います。また，指標に設定されている「三次本通商店街の空き店舗率」が改善されたことは素晴らしいと感じます。こうした状況の中で改善が図られたのは，本事業だけではなく，以前から修景などを含め，地域全体の街なみ環境整備に継続的に取り組んでこられた努力の結果だと思います。

今後の事業展開にあたっては，事務局が改善策に記載しているとおおり，三次本通りとの連携をこれまで以上に積極的に行う必要があります。今回整備したものの，関連事業等でこれまで整備してきたもの，そして今後整備していくものをしっかり繋いで回遊性を高めていくことがポイントとなります。情報発信やストリートファニチャーの設置などを想定されていますが，そうした様々な仕掛けを含めて積極的に行っていただきたいと思います。

委員 指標の「来訪者満足度」について，ヒアリング調査で満足度を測定したとのことですが，具体的にどのように調査をされましたか。

事務局 令和2年10月11日に，三次もののけミュージアム周辺と三次本通り小公

園前の2か所で、来訪者にヒアリングによるアンケート調査を実施しました。来訪者ご自身に関することや、観光目的、三次地区での滞在時間等とあわせて、三次地区の満足度に関する質問を行いました。通りの景観や、サイン案内看板、トイレ休憩所、駐車場・交通整備などの個別満足度とあわせて、総合的な満足度についてもお聞きしました。指標に記載している数値は、この総合的な満足度について「とても満足」「満足」と回答された方の割合を合計して算出したものです。

委員 この調査は平成27年10月と、令和2年10月の2回実施されていますが、参考資料3の3ページの⑦「評価値の求め方」に「同条件での計測であることから」と記載されていますが、何をもちいて同条件と見なされたのですか。

事務局 質問内容が同一であり、どちらも休日に実施していることから、同条件と見なしています。ただし、実施箇所については、平成27年の前回調査時は三次もののけミュージアムの開館前であったため、三次本通り小公園前の1か所のみとしています。

委員 同条件で実施したということですが、前回調査におけるアンケート実施人数は何人ですか。

事務局 22人です。

委員 今回調査では何人ですか。

事務局 65人です。

委員 こうしたヒアリング調査では、来訪者総数の何割に聞いたのかという前置きを記載することが多いと思います。今回コロナ禍であまり人がいない中において、65人のサンプルを取得できており、適切な調査であるという印象を受けますが、前回は22人というのは少ない感じがします。事務局としてはどう捉えていますか。

事務局 前回調査時は三次もののけミュージアムの開館前ということもあり、三次地区への誘客が弱い状況であったことや、調査実施箇所が1か所であったことなどから、そうした人数になったと考えています。

委員 例えば、前回は何人しか来られない中で22人、今回は何人来られている中で65人に調査し、どちらも来訪者の8割にきちんとヒアリングしたということになれば、同条件という点からも説明が付きやすいと思います。参考資料4に、目標が達成できなかった指標について「1年以内の達成見込み」の有無が記載されていますが、指標1の「歩行者数」については見込み

なしですが、指標4の「三次地区拠点施設の入館者数」は見込みありとなっています。入館者数が達成できるのであれば、そこを通過する人も同じく達成見込みありとはできないのでしょうか。このように評価された理由をお伺いします。

事務局 目標が達成できなかった指標については、仮にコロナの影響を除外した場合に想定される各数値の推計を行った結果、入館者数については目標値を達成した一方、歩行者数は達成には至りませんでした。この推計結果に基づき、達成見込みの評価を行っています。歩行者数については、三次もののけミュージアムへの来訪者を本通りへ回遊させるための取組が十分ではなかったことが一番の要因と考えており、今後の課題として整理しているところです。

委員 駐車を三次もののけミュージアムから離れたところに設けて、半ば強制的本通りを歩かせるという考えも必要かもしれません。

委員長 確かにそういう空間的な話はあるかもしれませんね。

委員 三次もののけミュージアムに行ったことがあります。裏が本通りにつながっていることは全く分かりませんでした。そのような案内が足りていないと思うので、しっかり対応されるべきだと思います。

イベント時などは周辺の空いた土地を借りてミュージアムの臨時駐車場にされていましたが、それを本通りへつなげるというのは、案として大変良いと思います。本通りの中にそうした駐車場を設定することができれば、例えばミュージアムに向かう途中で気になるカフェを発見できるなど、商店街のお店を知ることができます。

コロナの影響があったので、仮に影響を受けなかった場合はこのくらいということが資料の47ページなどに記載されています。この辺の成果は全て推計となっていますが評価として問題ないのでしょうか。また、今年度はコロナの影響があり結局全て推計になるのであれば、今年度はそもそも評価ができた年だったのかという点も疑問に思います。

事務局 駐車場については、市でも課題と捉えているところです。本通り等への回遊という点で、極力本通りを通っていただけたところに設定したいという思いはありますが、本通り側にあまりまとまった土地がなく、大規模なイベント時には三次小学校のグラウンドなど、本通りとは離れたところへ設定せざるを得ないのが現状です。こうした点は課題と捉えていますので、今後も駐車場については検討して参ります。

推計値による分析評価が多いことに関しては、県や国へも確認しましたが、コロナ禍の状況なので特に問題はないという回答をいただいています。今回推計になるという点については了承をいただいている状況です。

委員 指標自体は主に観光客に対してどうだったかというものになっていますが、資料の45ページについては、地域コミュニティのことを意識して記載されていると思います。今後の事業展開においては、観光客の増加はもちろん好ましいですが、地域コミュニティを活性化するという事で交流館やイベント広場もあると思いますので、地域住民にとっても有益な施設となるように、引き続き努力してください。

事務局 今はコロナ禍で地域の皆さんに施設を使っただく場が大変限定的な状況ですが、今後地域コミュニティの中でも様々な形で活用していただけるように努めて参ります。

委員 観光客数の増加に関しては多く記載されていますが、観光消費額の増加に関してはほとんど見えません。ぜひ、地元にお金を落とすという仕組みも含めていろいろなことに取り組んでいただきたいと思います。

事務局 観光客の増加に伴い、観光消費額も増えていくという認識ではいますが、より具体的に地元の消費につながるようなところについて、今後の取組の中で検討していきたいと思います。

委員 観光ショップのレジ通過人数の数字をとられていたと思いますが、平成27年と比べて増加していますか。もし増加しているなら、観光により経済が良くなったということが示せるのではないのでしょうか。

事務局 売店がある「三次地区文化・観光まちづくり交流館」は三次地区拠点施設の中の一つの施設であり、博物館とあわせて平成31年4月にオープンしています。したがって売店の数値としても令和元年度と令和2年度の数値しかございません。よって、令和元年度については16,874人、令和2年度が推計も含めまして4,466人ということでお示ししておりますので、ご了承くださいと思います。

委員 三次本通り商店街で販売されている、ロールケーキやお饅頭などの売上状況は分かりませんか。ミュージアムの開館後、売上が倍増したというようなことがあると大変嬉しいですが、把握はできていないですか。

事務局 今回商店街の売上に関する調査は行っていないため、把握できていません。

委員 何かよい数字がないかなと思っています。

委員 長 まち全体に対してどのような効果があるのか、というものが出せると良いと思います。そうした点について、事務局としても全体的な効果が把握できることを探して、引き続き考えていただくということはどうですか。

事務局 今後、そうした点も踏まえて検討させていただきます。

委員 長 全体的にはあるべき方向に向かって進んでいるという印象は受けています。その中でやはり回遊性や本通りとの関係という部分が弱点としてあがってきています。そのために情報やストリートファニチャーなどの環境を整備していくのだと思いますが、情報整備にあたってはいろいろと工夫が必要です。具体的なアイデアやビジョンはありますか。

事務局 具体的な案はまだ持ち合わせていませんが、取組の一つとしては、三次地区拠点施設から本通りへ通り抜けができるように、空き家を使って本通りへつないでいく取組を、現在準備しています。看板等の整備も予定していますが、そこが目立つことによって必然的に拠点施設から本通りへと、一定程度、人の流れが出来るのではないかと考えています。また、デジタル技術を活用したAR等を使った街歩きの仕掛けができないかといったことも、市が取り組んでいるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進の中で検討しているところです。

委員 長 その他、ご意見ご質問はありますか。

委員 （なし）

委員 長 質疑意見も出尽くしたと思いますので、まとめに入らせていただきます。総合的に判断し、本件について基本的には「妥当である」と、本委員会としては結論付けるということによろしいですか。

委員 （異議なし）

委員 長 ありがとうございます。そのように具申させていただきます。ただ、一方でいくつかご意見ご要望をいただきました。

1つは、河原委員からお話いただいた地域コミュニティに関すること。全体的に観光面が前に出っていますが、一方で、やはりそこで生活されている住民の皆さんや、地域コミュニティのことについても、もう少し軸足を置いていく必要があります。

また、宗清委員からお話いただいた地域経済に関することや、観光での消費が地元にとれくらいお金が落ちるのかという視点が必要です。

さらに、今川委員や前田委員からお話いただいた駐車場やまち全体に関する

ご指摘。やはり、来訪者にどのように本通りへ行ってもらうかというところが一つ大きな課題と思います。私はまちづくりを専門としていますが、まちづくりを考える時に、まち全体を見ながらハード・ソフト含めて考える必要があります。そう考えると駐車場のような空間的な話を、まち全体でどう考えるのかという点について地域の皆さんと一緒に考えることが必要です。その中で情報整備のこと、情報をどのように提供すると効果的かなど、それらが一体となってエリア全体のまちづくりが進むと良いと思います。

このようなことを皆さんの意見を伺いながら感じました。

以上で本日の審議は終了になるかと思いますが、事務局よろしいですか。

事務局 はい。

委員長 それでは先ほど確認した皆さんのご意見は、後日、委員長である私から市長へ意見具申させていただきます。意見と議事録要旨については、事務局と私で調製し、皆さんに一度ご確認いただいたうえで、最終案の作成については事務局と私に一任していただく形で進めたいと思いますがよろしいですか。

委員 (異議なし)

委員長 ありがとうございます。ご異議がないようなので、そのように進めさせていただきます。皆さんの積極的なご発言により、予定より早く終了することができました。ご協力に感謝を申し上げます。事務局へ進行をお返しします。

事務局 ご審議いただき、誠にありがとうございました。なお、本委員会の会議の様子や議事録などは最終的には市のホームページに掲載いたしますので、ご了承ください。これで閉会といたします。ありがとうございました。